

1. 令和6年度 宮城県農業行政の概要

共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～

○現状と課題

自然災害の激甚化、特定家畜伝染病の頻発化、さらには、国際情勢の変化等による資材価格の高騰も加わり、我が県の農業をめぐる環境は一層厳しさを増しています。

一方で、東日本大震災からの創造的な復興の取組により、大規模土地利用型農業や先進的施設園芸に取り組む法人が増加し、農業生産の効率化・高度化が着実に進んでいるほか、契約栽培による園芸作物のバリューチェーンの進展など、新たな動きも見られます。

これらの動きに対応するべく、「農業・農村の持続的発展に向けた環境と調和した持続可能な食料システムの構築」や「若者や女性にとって魅力的な農業・農村づくり」を進める必要があります。また、「食料安全保障の強化に向けた食料や肥料、飼料の自給力向上」など、生産の体質強化に向けた更なる取組も求められています。

○令和6年度の基本的な方向性

「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」で目指す姿の実現に向け、RTK基地局を利用した自動操舵システムや施設園芸での高度環境制御技術の普及拡大、畜産分野でのICT活用など、農業・農村のDXを進めるほか、SDGsの理念や「宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョン」に基づき、バイオ炭等地域の未利用資源の活用や牧畜連携による自給飼料の生産、ため池ソーラーによるエネルギー自給の検討などを進め、農業の持続的発展を目指します。また、農村社会の維持・活性化に向け、若者や女性等の多様な人材を活用した地域づくりや関係人口の創出、地域の拠点としての農産物直売所の機能強化などを図ります。

さらに、食料・農業・農村基本法見直しの趣旨を踏まえた今後の施策なども活用しながら、食と農に関わる人材が連携・協働して取組を推進することにより、豊かな食と農の未来の構築を目指します。

○重点施策

I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給(豊かな食)

- 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進
- 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化
- 県民への安全・安心な食料の安定供給

II 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開(儲ける農業)

- みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成
- 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化
- 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化
- 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立
- 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興
- 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

III ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築(活力ある農村)

- 関係人口と共に創る活力ある農村
- 地域資源を活用した多様ななりわいの創出
- 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
- 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化